

再評価

【ダム事業】

(直轄事業)

- ハツ場ダム建設事業 1

事業名 (箇所名)	ハッ場ダム建設事業		担当課	水管理・国土保全局治水課		事業 主体	関東地方整備局		
実施箇所	群馬県吾妻郡長野原町、東吾妻町								
該当基準	社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業								
事業諸元	<ul style="list-style-type: none"> ・重力式コンクリートダム 堤高=116.0m 堤頂長=290.8m ・総貯水容量 107,500千m³ ・有効貯水容量 90,000千m³ 								
事業期間	昭和42年度実施計画調査着手/昭和45年度建設事業着手/平成31年度完成予定								
総事業費 (億円)	約4,600		残事業費 (億円)	約778					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利根川では、近年においても、平成10年9月、13年9月、14年7月、16年10月、19年9月に浸水被害が発生している。 ・利根川では、昭和47年から平成25年の間に15回の濁水が発生している。 ・ハッ場ダムでは1都4県で約11m³/sの暫定豊水水利権を許可している。(開発水量約22m³/sの約半分) <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水調節、流水の正常な機能の維持(河川の水量確保)、新規都市用水の供給(水道用水・工業用水)、発電(電力供給) <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 								
便益の主な根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・年平均浸水軽減戸数 : 3,612戸 ・年平均浸水軽減面積 : 7.86km² 								
事業全体の投資効率性	基礎年度 B:総便益 (億円)		平成25年度 C:総費用(億円)		B/C		EIRR (%)		10.1
残事業の投資効率性	B:総便益 (億円)		C:総費用(億円)		B/C				
感度分析			残事業 (B/C)		全体事業 (B/C)				
	残事業費 (+10%~-10%)		48.5 ~ 56.9		6.4 ~ 6.6				
	残工期 (+10%~-10%)		51.5 ~ 53.2		6.3 ~ 6.7				
	資産 (-10%~+10%)		47.3 ~ 57.4		5.9 ~ 7.1				
事業の 効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水調節:ダム地点における計画高水流量3,000m³/sのうち、2,800m³/sの洪水調節を行う。 ・流水の正常な機能の維持:吾妻川における流水の正常な機能の維持と増進を図る。 ・新規都市用水の供給:新たに水道用水、工業用水の供給を行う。 水道用水:群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、茨城県に最大21,389m³/sを供給する。 工業用水:群馬県、千葉県に最大0.82m³/sを供給する。 ・発電:ダム下流に群馬県により新設されるハッ場発電所において、最大出力11,700kwの発電を行う。 								
社会経済情 勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・特定多目的ダム法に基づく基本計画における工期、洪水調節計画を変更した。 ・平成17年から平成22年までの間は、利根川の氾濫により浸水の恐れのある区域を含む市区町の人口や利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画の対象市区町村人口は、ほぼ横ばいであり、大きな変化はない。 ・各事業主体では、水道用水については「水道施設整備事業の評価実施要領」に基づき、平成16年度から平成22年度に再評価が実施され、工業用水については「工業用水道に係る政策評価実施要領」に基づき、平成21年度から平成22年度に事後評価が実施され、「事業継続」の評価を受けている。 								
事業の進捗 状況	<p>昭和42年11月 実施計画調査着手 昭和61年 7月 基本計画告示 平成13年 9月 第1回基本計画変更 平成16年 9月 第2回基本計画変更 平成20年 9月 第3回基本計画変更 平成21年12月 新たな基準に沿った検証の対象とするダム事業に選定 平成23年12月 ハッ場ダムを「事業継続」するとの対応方針を決定 平成25年11月 第4回基本計画変更</p> <p>現在、本体関連工事(作業ヤード造成、骨材プラントヤード造成、工事用道路、仮締切等)を実施している。 平成24年度末までに、事業費約3,725億円を投資 進捗率約81%(事業費ベース)</p>								
事業の進捗 の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・整備を進めている代替地には既に関係者の移転が進み、それと同時に国道145号等の付替道路も供用を開始しており、移転先での生活に向けた基盤整備が着々と進捗している。また、現地では代替地での移転を前提としたまちづくりが地元及び関係自治体により進められている。 ・平成25年度当初予算に、本体工事の準備に必要な関連工事を進めるための予算が計上され、本体関連工事として作業ヤード造成、骨材プラントヤード造成、工事用道路、仮締切等を実施している。また、平成26年度予算概算要求では本体工事の予算を要求している。 								
コスト削減 や代替案 立案等の 可能性	<p><コスト削減></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度より国、関係自治体、利水者からなる「ハッ場ダム建設事業のコスト管理等に関する連絡協議会」を設置し、コスト削減の達成状況等の協議を行いながら、事業費等の管理を進めている。 <p><代替案立案等の可能性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に実施したハッ場ダムの検証に係る検討において、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき「洪水調節」、「新規利水」、「流水の正常な機能の維持」を目的別にダム案(ハッ場ダム)とハッ場ダム以外の代替案を複数の評価軸ごとに評価し、総合的な評価の結果としては、コストや時間的な観点から見た実現性等の面から、ダム案(ハッ場ダム)が優位と評価している。 								
対応方針	継続								
対応方針 理由	当該事業は、現段階においても、その事業の必要性は変わっておらず、引き続き事業を継続することが妥当と考える。今後ともハッ場ダムの早期完成に向けた取り組みを一つ一つ着実に進めていく。								
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議の結果、対応方針(原案)のとおり、「継続」とすることを了承する。 <p><群馬県の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民がこれ以上、将来の不安や不便な生活に苦しむことがないよう、ダム本体工事の工期短縮に努めるとともに、生活再建事業については、地元の意向を尊重した上で、早期完成に努めるよう要望する。 ・また、現地における安全確保に万全を期した上で、総事業費の圧縮に最大限努力していただきたい。 <p><埼玉県の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッ場ダム建設事業は、本県にとって治水上・利水上、必要不可欠な事業であることから、事業の継続が必要であると考えております。 ・なお、事業の実施にあたっては、早期に本体工事着手し、完成予定時期にかかわらず1日も早く完成させるようお願いいたします。併せて徹底したコスト削減に取り組んでいただきたいと思います。 <p><東京都の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッ場ダムは首都圏の治水・利水に必要不可欠な施設であるため、速やかにダム本体工事着手し、一日も早く完成させること。 ・また、事業の実施にあたっては、工期延長等により事業費が増額しないよう徹底したコスト削減等に取り組むことを強く要望する。 <p><千葉県の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッ場ダムは、本県にとって治水・利水上、必要不可欠な施設であることから、工期短縮に努め、早期完成を図られたい。 ・また、事業の実施にあたっては、更なるコスト削減を図り、総事業費の圧縮に努められたい。 <p><茨城県の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッ場ダム建設事業は、本県にとって治水・利水の両面から大変重要な事業であることから、工期短縮に努め、早期完成を図るよう要望します。 ・併せて、徹底したコスト削減を図り、事業費の圧縮に努めるようお願いいたします。 <p><栃木県の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッ場ダムは、本県の治水に寄与することから、事業を継続していただければ幸いです。 ・また、事業の推進にあたっては、工期の延伸が無いよう万全を期するとともに、更なるコスト削減を図り、総事業費の圧縮に努めていただきたいと思います。 								

ハツ場ダム位置図

